



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL http://www.tsukada-global.holdings
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 平成26年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	23,511	5.6	1,981	△23.7	2,044	△23.8	1,228	△14.1
25年12月期第2四半期	22,265	9.3	2,597	17.9	2,684	21.8	1,431	43.1

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,187百万円 (△26.9%) 25年12月期第2四半期 1,624百万円 (60.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	25.17	22.47
25年12月期第2四半期	29.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	54,151	25,604	47.3
25年12月期	53,968	24,668	45.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 25,604百万円 25年12月期 24,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	1,000.00	—	5.00	—
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株にする株式分割を行っております。当該株式分割を考慮しない場合の平成25年12月期の期末の1株当たり配当金は1,000円00銭となり、年間の1株当たり配当金は2,000円00銭となります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,650	11.0	7,250	5.7	7,250	1.7	4,300	1.5	88.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 (社名) 株式会社ベストブライダル分割準備会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	48,960,000株	25年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	131,512株	25年12月期	131,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	48,828,488株	25年12月期2Q	48,960,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、一部で弱い動きがみられるものの、政府による経済政策や日銀の金融政策の効果などを背景に、企業収益の改善並びに雇用・所得環境の改善が見られ、景気は穏やかな回復基調で推移しております。しかしながら、円安や燃料高による輸入コストの上昇、海外景気の下振れ懸念等もあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において、当社グループはブライダル市場、並びにホテル市場における新しい価値の創造、高品質かつ魅力ある店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に常に積極的に取り組みつつ、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,511百万円（前年同四半期比5.6%増）となりましたが、既存店舗の施行件数の減少及び一部連結子会社の固定費の増加等により、利益につきましては、営業利益1,981百万円（同23.7%減）、経常利益2,044百万円（同23.8%減）、四半期純利益1,228百万円（同14.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 国内婚礼事業

当第2四半期連結累計期間においては、少人数婚礼の施行件数は順調に推移しましたが、既存店舗の施行件数の減少により、売上高は若干の減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は16,985百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は2,603百万円（同26.1%減）となりました。

② ホテル事業

当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に改装工事が完了した「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」が順調に推移し、また新たに事業を譲受けました「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」が、売上高の増加に貢献いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は4,920百万円（前年同四半期比53.7%増）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期は、セグメント損失327百万円）となりました。

③ 海外事業

当第2四半期連結累計期間においては、直販営業が堅調に推移し、また外国人挙式が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,605百万円（前年同四半期比15.9%増）、セグメント利益は22百万円（同1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加して、54,151百万円となりました。これは主に、事業譲受等に伴う敷金及び保証金の増加656百万円、のれんの増加554百万円、有形固定資産の増加323百万円、その他の流動資産の減少1,264百万円があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ753百万円減少して、28,546百万円となりました。これは主に、前受金の増加356百万円、事業譲受等に伴う資産除去債務の増加325百万円があったものの、借入金及び社債の純減額291百万円、未払法人税等が980百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ936百万円増加して、25,604百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当が244百万円、四半期純利益を1,228百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し、13,551百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,349百万円（前年同四半期比37.1%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,031百万円、減価償却費1,322百万円に対して、法人税等の支払額1,779百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,076百万円(前年同四半期比47.4%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出974百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は516百万円(前年同四半期比61.0%減)となりました。これは主に、借入金及び社債の純減額267百万円、配当金の支払額244百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(平成26年12月期)の業績予想につきましては、平成26年2月14日付決算短信にて公表いたしました数値に、新たに当期純利益、1株当たり当期純利益を追記いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社ベストブライダル分割準備会社(平成26年7月1日付で「株式会社ベストブライダル」に商号変更)を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、Ecpark Pte.Ltd.は連結グループ方針の見直し等により、相対的な重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,866	8,658
売掛金	476	587
有価証券	5,000	5,001
商品	3	9
原材料及び貯蔵品	373	448
その他	3,216	1,951
貸倒引当金	△41	△42
流動資産合計	17,895	16,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,342	15,506
土地	4,757	4,756
その他(純額)	1,361	1,520
有形固定資産合計	21,460	21,783
無形固定資産		
のれん	962	1,516
その他	191	179
無形固定資産合計	1,153	1,696
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,299	6,955
その他	7,103	7,051
投資その他の資産合計	13,402	14,006
固定資産合計	36,016	37,487
繰延資産	56	49
資産合計	53,968	54,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,189	2,077
1年内返済予定の長期借入金	2,709	2,510
1年内償還予定の社債	484	484
未払法人税等	1,786	805
前受金	968	1,325
その他	2,231	2,294
流動負債合計	10,370	9,497
固定負債		
社債	1,106	864
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	9,960	10,109
退職給付引当金	282	305
役員退職慰労引当金	636	655
資産除去債務	1,083	1,409
その他	861	705
固定負債合計	18,929	19,049
負債合計	29,300	28,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	23,443	24,418
自己株式	△88	△88
株主資本合計	24,461	25,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	115
繰延ヘッジ損益	46	19
為替換算調整勘定	71	32
その他の包括利益累計額合計	206	167
純資産合計	24,668	25,604
負債純資産合計	53,968	54,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	22,265	23,511
売上原価	14,781	15,887
売上総利益	7,484	7,624
販売費及び一般管理費	4,886	5,643
営業利益	2,597	1,981
営業外収益		
受取利息	31	36
受取配当金	38	59
匿名組合投資利益	57	59
為替差益	0	58
デリバティブ評価益	76	—
その他	20	20
営業外収益合計	224	234
営業外費用		
支払利息	132	105
デリバティブ評価損	—	57
その他	5	7
営業外費用合計	137	170
経常利益	2,684	2,044
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	8
特別損失		
店舗閉鎖損失	6	—
固定資産除却損	17	21
特別損失合計	23	21
税金等調整前四半期純利益	2,660	2,031
法人税等	1,229	804
少数株主損益調整前四半期純利益	1,431	1,227
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益	1,431	1,228

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,431	1,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	26
繰延ヘッジ損益	24	△26
為替換算調整勘定	154	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	10	—
その他の包括利益合計	193	△39
四半期包括利益	1,624	1,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,624	1,187
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,660	2,031
減価償却費	1,284	1,322
のれん償却額	41	64
社債発行費償却	4	6
固定資産除却損	13	21
デリバティブ評価損益(△は益)	△76	57
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28	22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20	19
賃貸借契約解約損失引当金の増減額(△は減少)	△26	—
受取利息及び受取配当金	△70	△96
支払利息	132	105
為替差損益(△は益)	22	△16
匿名組合投資損益(△は益)	△57	△59
売上債権の増減額(△は増加)	△60	△115
たな卸資産の増減額(△は増加)	22	△61
仕入債務の増減額(△は減少)	98	△109
前受金の増減額(△は減少)	290	354
その他の負債の増減額(△は減少)	73	48
その他	38	△441
小計	4,442	3,148
利息及び配当金の受取額	61	87
利息の支払額	△136	△107
法人税等の支払額	△2,221	△1,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,146	1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,246	△974
無形固定資産の取得による支出	△18	△25
投資有価証券の取得による支出	△509	△101
投資有価証券の売却による収入	7	22
貸付けによる支出	△38	△40
貸付金の回収による収入	0	100
敷金及び保証金の差入による支出	△191	△107
敷金及び保証金の回収による収入	1	58
その他	△49	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,046	△1,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,757	△1,525
社債の償還による支出	△316	△242
配当金の支払額	△244	△244
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,323	△516
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,141	△263
現金及び現金同等物の期首残高	11,205	13,758
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	56
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,064	13,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,679	3,200	1,385	22,265	—	22,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	169	60	0	229	△229	—
計	17,848	3,260	1,385	22,494	△229	22,265
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,523	△327	21	3,217	△620	2,597

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△620百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△637百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,985	4,920	1,605	23,511	—	23,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	254	68	0	323	△323	—
計	17,240	4,989	1,605	23,835	△323	23,511
セグメント利益	2,603	5	22	2,631	△650	1,981

(注) 1. セグメント利益の調整額△650百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△675百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「国内事業」に含まれていた「ホテル事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の「国内事業」及び「海外事業」の2区分から、「国内婚礼事業」、「ホテル事業」及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(吸収分割契約による持株会社制への移行)

当社は、平成26年2月14日開催の取締役会において、当社を分割会社とする会社分割を行い、当社の100%子会社である株式会社ベストブライダル分割準備会社(平成26年7月1日付で「株式会社ベストブライダル」に商号変更。以下、「承継会社」といいます。)に当社の事業を承継させることを決議し、同日付で締結した吸収分割契約に基づき、平成26年7月1日付で当社の事業を承継会社に承継いたしました。

これに伴い、当社は平成26年7月1日付で「株式会社ツカダ・グローバルホールディング」に商号変更し、持株会社へ移行いたしました。

1. 吸収分割の対象となった事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 対象となった事業の内容

国内結婚式場運営事業及び海外チャペル等運営事業

(2) 企業結合日

平成26年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、当社の100%子会社である株式会社ベストブライダルを承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

分割会社：株式会社ツカダ・グローバルホールディング

承継会社：株式会社ベストブライダル

(5) 取引の目的を含む取引の概要

国内婚礼事業につきましては、少子高齢化の影響が徐々に浸透し、マーケット環境は厳しい状況になりつつあるものの、婚礼費用の緩やかな増加等もあり、マーケット規模は概ね底堅く推移しております。ホテル運営事業につきましては、国内景気の回復基調、外国人観光客の増加等により、回復の兆しが鮮明になりつつあります。また、海外チャペル等運営事業につきましては、総じて堅調に推移しております。

このような状況下において、当社グループは、「心に焼きつくプロのおもてなしで人々の集う場をプロデュースする。」を企業理念とし、主たる事業である国内婚礼事業に加え、ホテル運営事業、及び海外事業等、事業領域の拡大を加速させております。

当社は、今後の各事業のより積極的な展開を見据え、責任と権限の所在を明確化させることによる機動的な経営と経営資源の適切な配分を確保することで、企業価値の向上と永続的な事業発展を実現することができると判断して、持株会社制へ移行すべく、本件分割を実施することといたしました。

持株会社制への移行後は、当社グループ全体の経営に関する意思決定につきましては、持株会社が行い、各事業会社における事業の運営に関する意思決定につきましては、各事業会社が行うことにより、意思決定を分離し、経営責任の明確化と迅速な意思決定の実現を図り、グループとしての企業価値の最大化を目指してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 施行実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
国内婚礼事業	4,660	4,706	9,857
ホテル事業	344	354	758
海外事業	1,413	1,427	2,932
合計	6,417	6,487	13,547

(2) 受注状況

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
セグメントの名称	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
国内婚礼事業	5,252	6,502	5,634	6,536	9,555	5,608
ホテル事業	479	541	506	600	800	448
海外事業	1,601	1,610	1,593	1,643	2,987	1,477
合計	7,332	8,653	7,733	8,779	13,342	7,533

(3) 販売実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
国内婚礼事業	17,679	16,985	37,392
ホテル事業	3,200	4,920	7,139
海外事業	1,385	1,605	2,894
合計	22,265	23,511	47,426

- (注) 1. 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。
2. 第1四半期連結会計期間より、新たに外部提携施設での施行件数、受注件数、受注残高件数を含めることとしたため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度につきましては、変更後の数値にて作成しております。
3. セグメント間取引については、相殺消去しております。
4. 金額には、消費税等は含まれておりません。